

渋谷区産業・観光ビジョン

SHIBUYA CITY

INDUSTRY and TOURISM VISION



渋谷区
Shibuya City

第1章

渋谷区の産業と観光のいま

本章では、渋谷区の産業・観光にまつわるデータ分析や有識者へのヒアリングにより、都市の特性・現状・課題等を洗い出し、渋谷区の「いま」として示しています。

1 渋谷区の都市特性

渋谷区の都市特性と役割

渋谷区が「成熟した国際都市」を目指し、それを実現するための産業・観光分野の計画を検討するにあたっては、まずは、現在の渋谷区の都市特性を把握することが重要です。そこで、「日本の都市特性評価」(森記念財団)を用いて分析を行いました。「日本の都市特性評価」は、東京23区を含む日本の主要都市を対象として、都市の力を6分野(経済・ビジネス、研究・開発、文化・交流、生活・居住、環境、交通・アクセス)83指標で分析し、都市の強みや弱みといった都市特性を明らかにすることを目的とした調査です。

同調査における東京23区の合計スコアでは、渋谷区は5位で、分野別にみると『経済・ビジネス』、『文化・交流』、『交通・アクセス』が4位、『生活・居住』が5位と評価されていますが、一方で「研究開発」が9位と低い評価になっています(9頁上図および下表参照)。さらに、産業・観光の観点に絞って指標グループ別偏差値をみると、9頁下図が示す通り、『経済・ビジネス』では、「ビジネスの活力」や「ビジネス環境」、「財政」といった指標グループの評価が高く、その中でも、新設事業所割合やフレキシブル・ワークプレイス密度といった指標が強みとなっています(10頁下表参照)。また、9頁下図の通り、『文化・交流』分野では、「交流実績」、「発信実績」、「ソフト資源」が強みであり、特に、休日の人の多さや、行楽・観光目的の訪問の多さ、クリエイティブ産業従業者割合(用語解説p.45)などの指標が高く評価されています(10頁下表参照)。

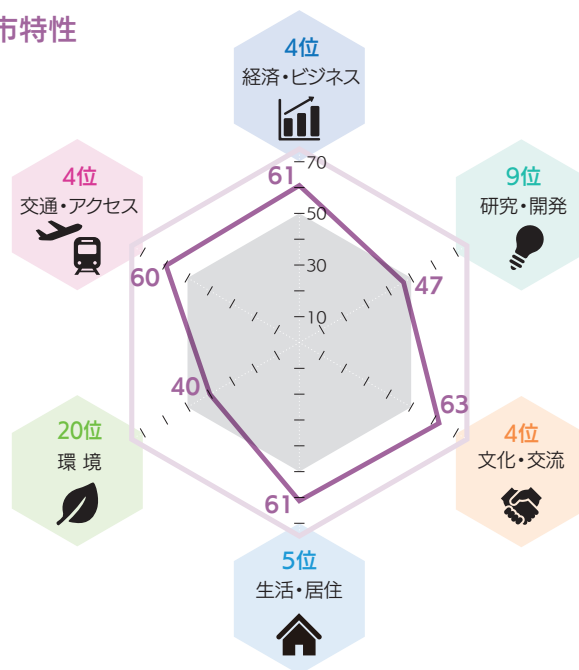
優れたビジネス環境と、
個性的な文化を
発信しつづける街 —— 渋谷区

これらのことから、渋谷区は、新しいビジネスを立ち上げやすく、多様な働き方に対応したビジネス環境が整っているとともに、文化的な魅力が常に発信され、多くの人を惹きつけている都市であることが分かります。今後、渋谷区がさらに都市力を伸ばすには、渋谷区らしい強みや特性をさらに伸ばし、多様な価値観、そしてクリエイティブな人を惹きつける環境を維持して進化させていくとともに、『経済・ビジネス』における地域内総支出といった指標や、『文化・交流』における景観まちづくりへの積極度、イベントの数・評価、宿泊施設数といった指標の改善が求められます(10頁下表参照)。また、ごみの問題や安全・安心などその他の関連する指標も意識しながら取り組んでいくことが大切です。

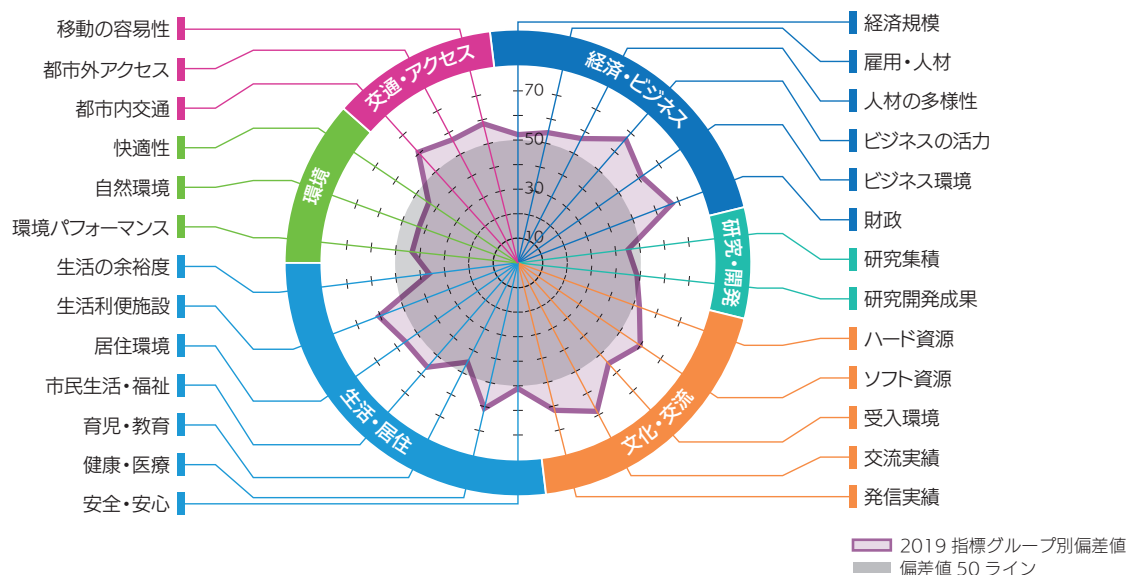
渋谷区の都市力を高めることで、オリンピック・パラリンピック開催以降も、国際的な都市間競争の中での東京の地位向上にもつなげていく。こうした役割が渋谷区に求められています(11頁参照)。

東京23区における渋谷区の都市特性 「日本の都市特性評価2019」

■渋谷区の分野別偏差値・順位



■渋谷区の指標グループ別偏差値

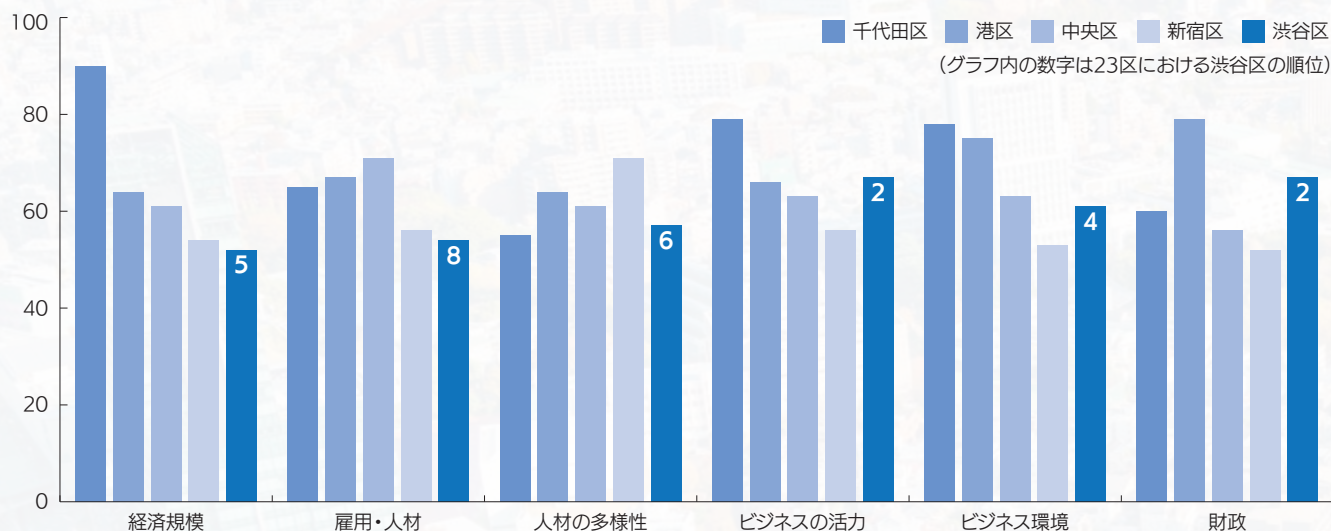


■分野別順位

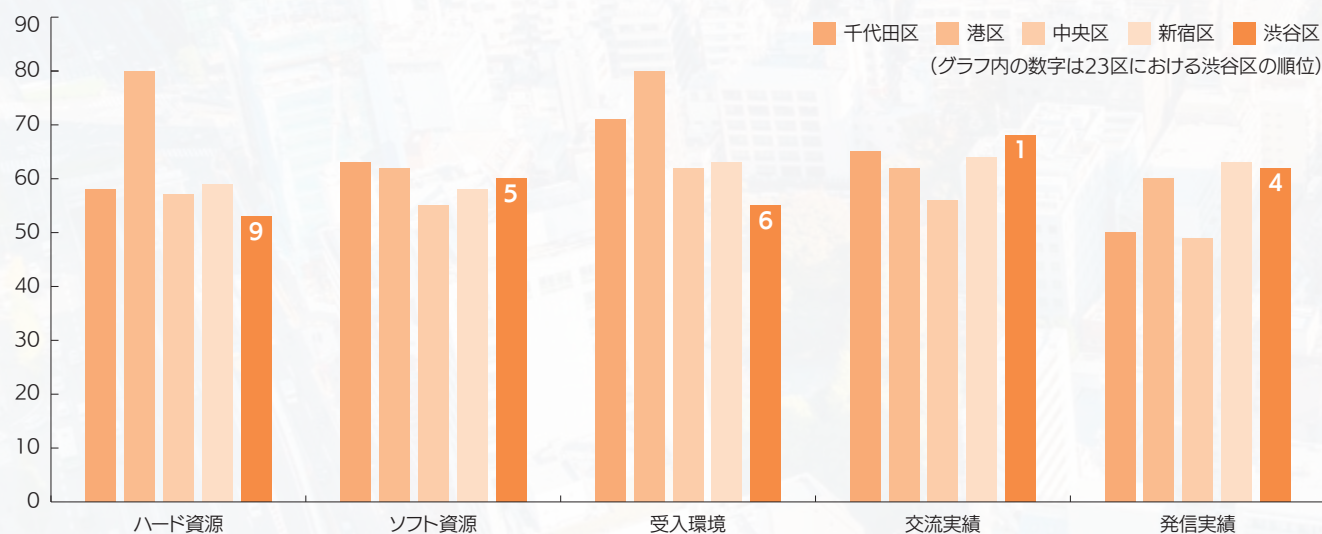
経済・ビジネス		研究・開発		文化・交流		生活・居住		環境		交通・アクセス		合計スコア	
都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア
1 千代田区	437	1 文京区	86	1 港区	216	1 千代田区	375	1 江東区	144	1 中央区	225	1 千代田区	1,410
2 港区	397	2 新宿区	75	2 千代田区	194	2 中央区	370	2 中央区	141	2 千代田区	220	2 港区	1,353
3 中央区	346	3 目黒区	69	3 新宿区	179	3 文京区	342	3 江戸川区	128	3 港区	209	3 中央区	1,248
4 渋谷区	313	4 港区	66	4 渋谷区	175	4 港区	338	4 港区	128	4 渋谷区	204	4 新宿区	1,160
5 新宿区	286	5 千代田区	58	5 台東区	171	5 渋谷区	337	5 千代田区	127	5 品川区	202	5 渋谷区	1,139
-	-	9 渋谷区	14	-	-	-	-	20 渋谷区	96	-	-	-	-

出典：「日本の都市特性評価2019」（一般財団法人森記念財団都市戦略研究所）

■経済・ビジネス：指標グループ別偏差値



■文化・交流：指標グループ別偏差値



■指標別にみた渋谷区の強み・弱み(経済・ビジネス、文化・交流分野)

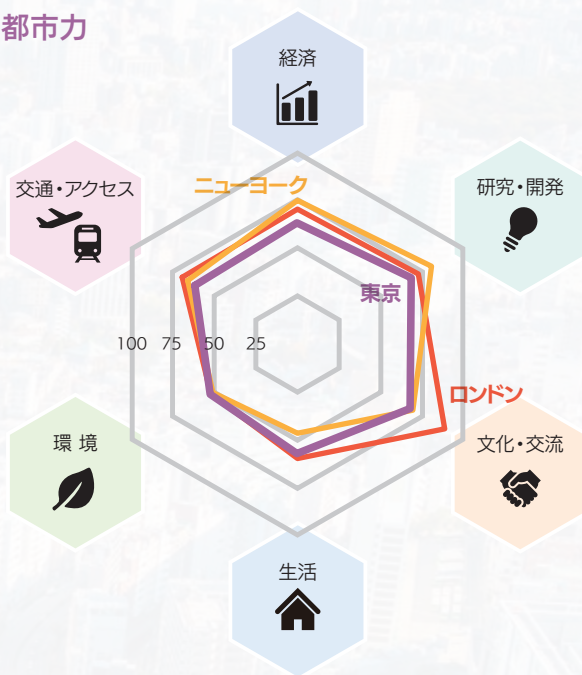
😊 渋谷区の強み			😞 渋谷区の弱み		
分野	指標グループ	指標	分野	指標グループ	指標
経済・ビジネス	ビジネスの活力	新設事業所割合	経済・ビジネス	経済規模	地域内総支出
	ビジネス環境	フレキシブル・ワークプレイス密度*		人材の多様性	外国人就業者割合
	財政	財政力指数		ビジネスの活力	特区制度認定地域数
文化・交流	交流実績	休日の人の多さ	文化・交流	ハード資源	景観まちづくりへの積極度
		行楽・観光目的の訪問の多さ		ソフト資源	イベントの数・評価
	ソフト資源	クリエイティブ産業従業者割合		受入環境	宿泊施設数

※森記念財団都市戦略研究所「日本の都市特性評価」における定義にもとづき、「喫茶店数」と「コワーキングスペース数」を、それぞれ市街化区域面積で除して指数化した値。

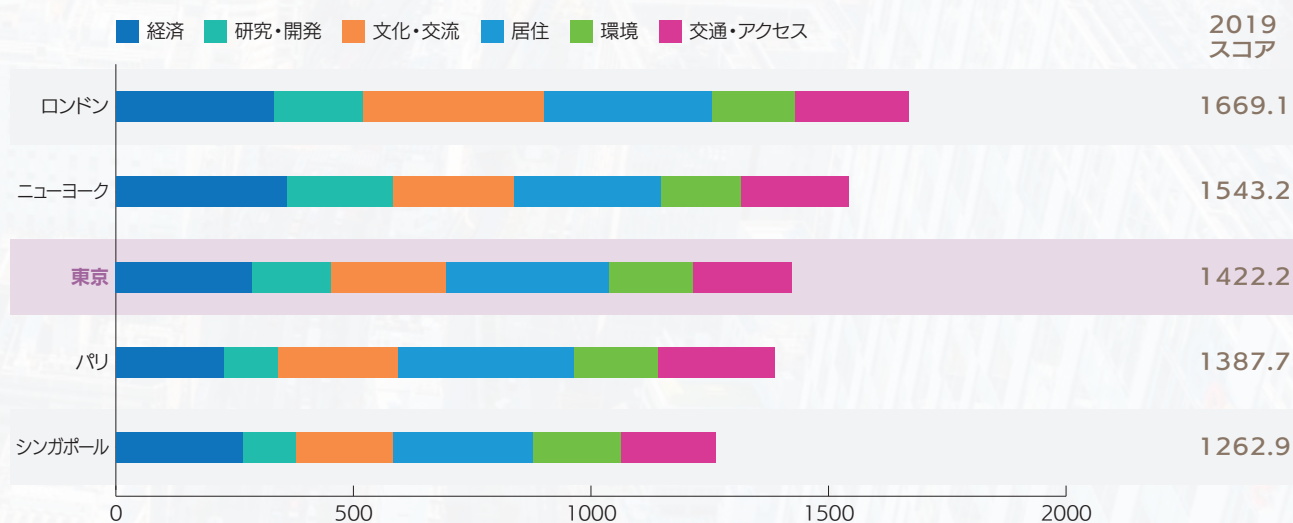
出典：「日本の都市特性評価2019」（一般財団法人森記念財団都市戦略研究所）

世界主要都市と比較した東京の都市力 「世界の都市総合力ランキング2019」

■上位3都市の分野別偏差値



■総合スコアにおける上位5都市



■分野別順位

経済		研究・開発		文化・交流		居住		環境		交通・アクセス		総合ランキング	
都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア	都市名	スコア
1 ニューヨーク	358.5	1 ニューヨーク	224.5	1 ロンドン	382.7	1 パリ	371.8	1 チューリッヒ	242.5	1 パリ	247.1	1 ロンドン	1669.1
2 ロンドン	331.4	2 ロンドン	187.8	2 ニューヨーク	254.1	2 アムステルダム	365.5	2 スtockホルム	232.4	2 ロンドン	239.1	2 ニューヨーク	1543.2
3 北京	288.4	3 東京	166.2	3 パリ	252.2	3 マドリッド	364.4	3 コペンハーゲン	222.8	3 ニューヨーク	226.6	3 東京	1422.2
4 東京	286.6	4 ロサンゼルス	163.1	4 東京	241.9	4 バンクーバー	364.3	4 ヘルシンキ	218.9	4 上海	225.7	4 パリ	1387.7
5 チューリッヒ	269.4	5 ソウル	146.5	5 シンガポール	204.3	5 ベルリン	361.8	5 シドニー	216.0	5 フランクフルト	223.7	5 シンガポール	1262.9
-	-	-	-	-	-	11 東京	343.3	23 東京	176.2	8 東京	208.0	-	-

出典：「世界の都市総合力ランキング2019」（一般財団法人森記念財団都市戦略研究所）

4 渋谷区の人集積の特徴

渋谷区の1年間における平均的な人の集まりをみると、渋谷駅と新宿駅周辺が2つの極となっており、また、恵比寿駅や原宿・表参道周辺にも多くの人が集まっています。一方で、比較的住宅の多い区の北西部は人口集積が相対的に少なく、区の一部にある代々木公園や明治神宮も人口的には空白地帯です。

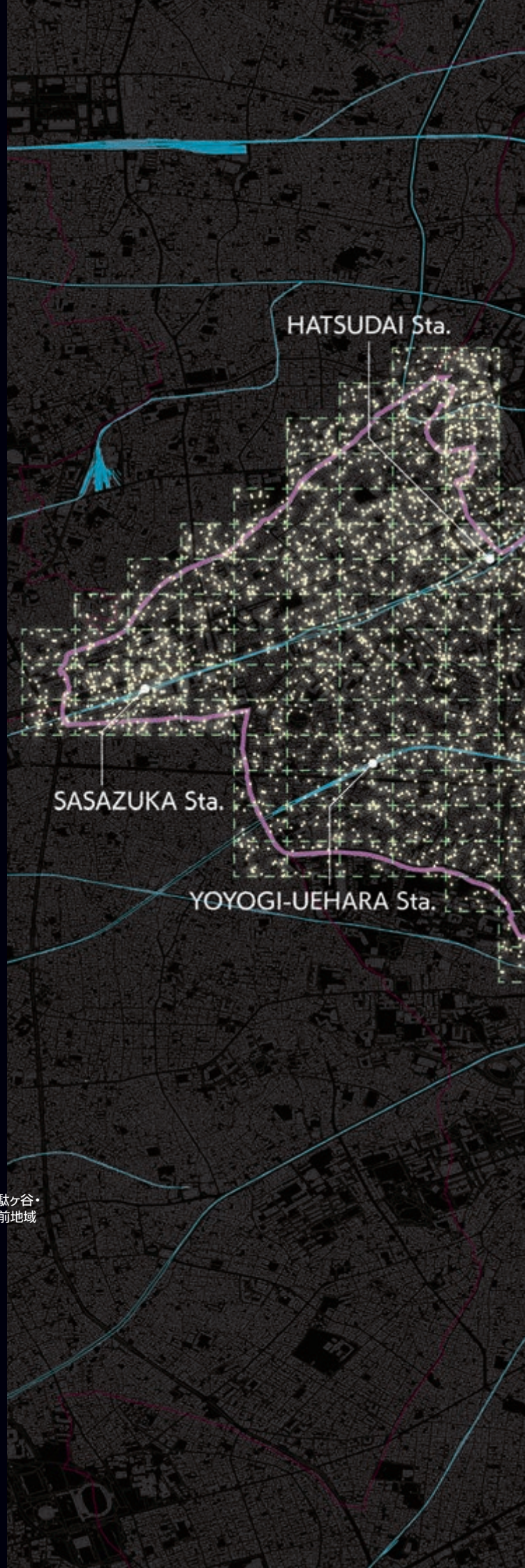
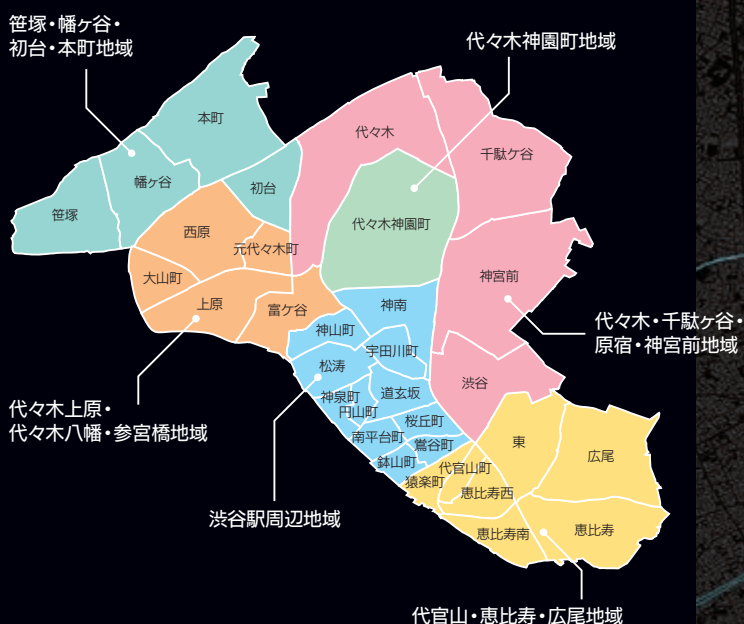
また、渋谷区に滞在する人の年代をみると、様々な年代の人がバランスよく集まっていることが分かります。性別も男性と女性がほぼ同数であり、性別的な偏りもみられないことから、渋谷区には多様な人たちが住み、働き、訪れていることがうかがえます。

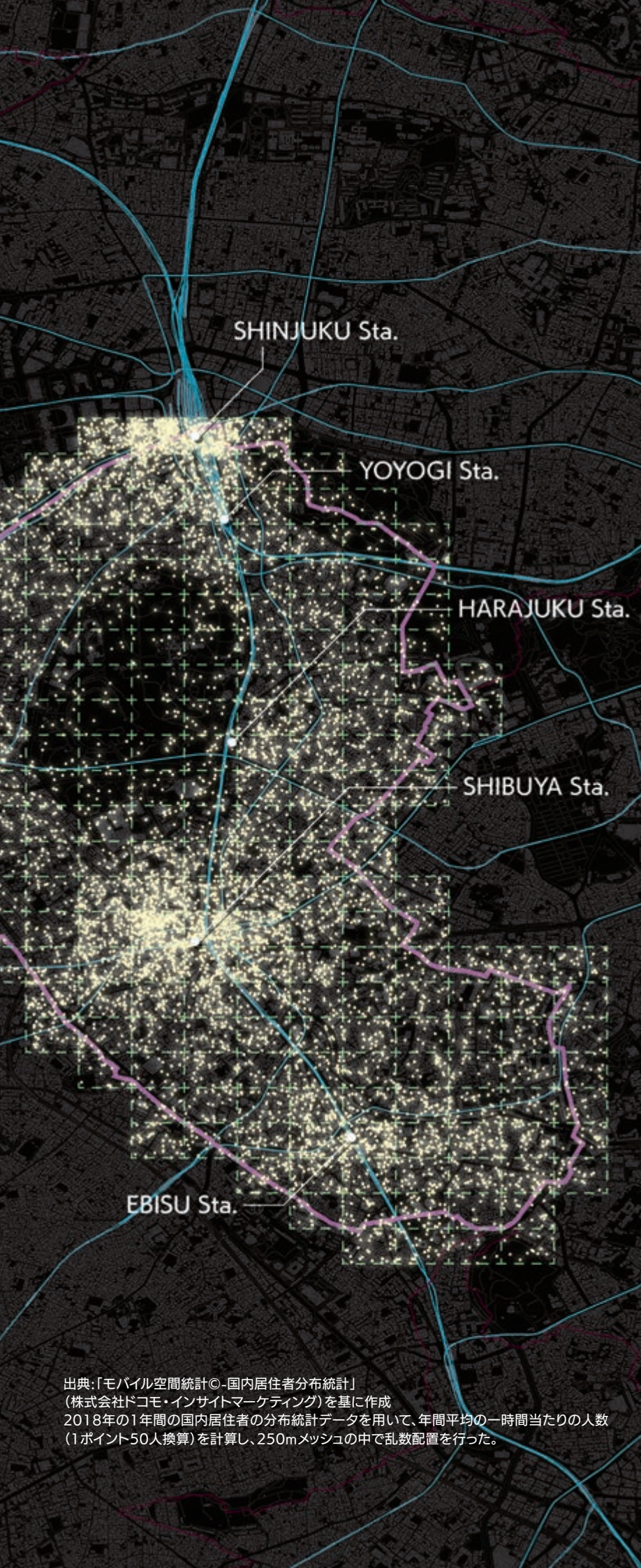
エリア別・時間別に人の動きを見てみると、大きな特徴の違いがみとれます。区内に渋谷駅と新宿駅という2つの巨大なターミナル駅を抱えていることもあり、「渋谷駅周辺」、「代々木・千駄ヶ谷・原宿・神宮前」の2つのエリアは、6時ごろから15時頃にかけて急激に就業者や来街者が流入し、その後、就業時間が過ぎたころから一気に減少していきます。

一方、「代々木上原・代々木八幡・参宮橋」や「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町」では、一日の中であまり増減が見られていないことから、日中における新宿駅や渋谷駅の人口集積は、それらのエリアまでは波及していないことが分かります。

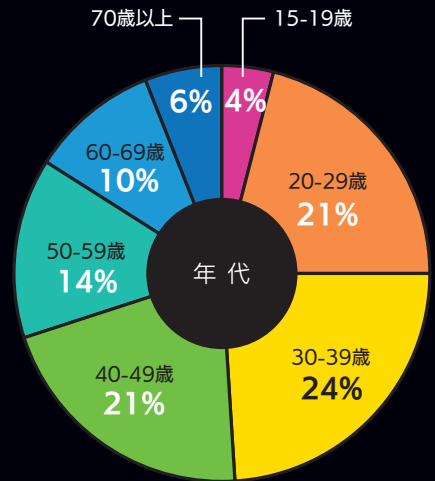
なお、エリア別の集計をする際は、まちづくりマスタープランを参照しながら、以下の町丁目区分に基づき集計しています。

■町丁名による地域区分

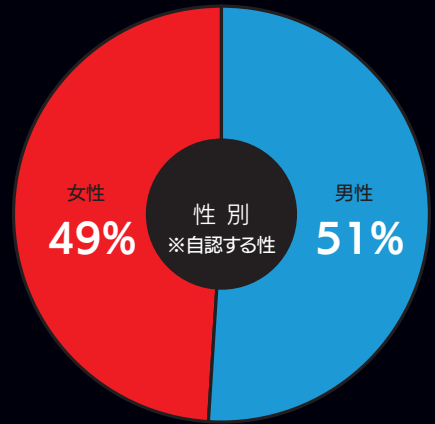




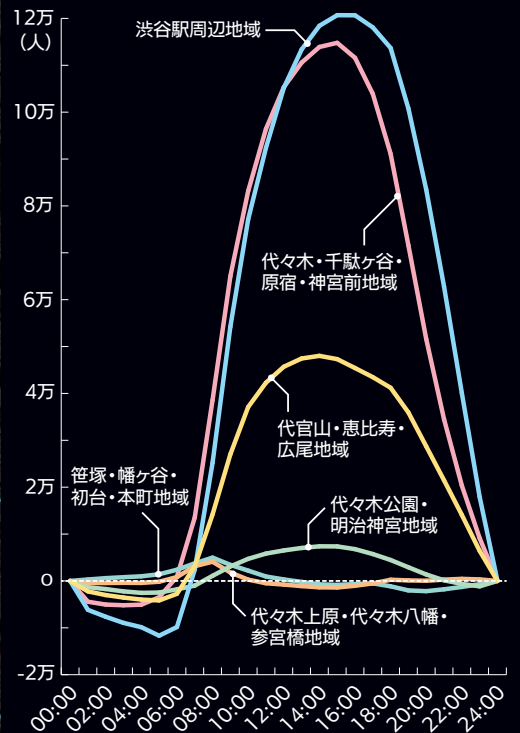
■年代別の割合



■性別の割合



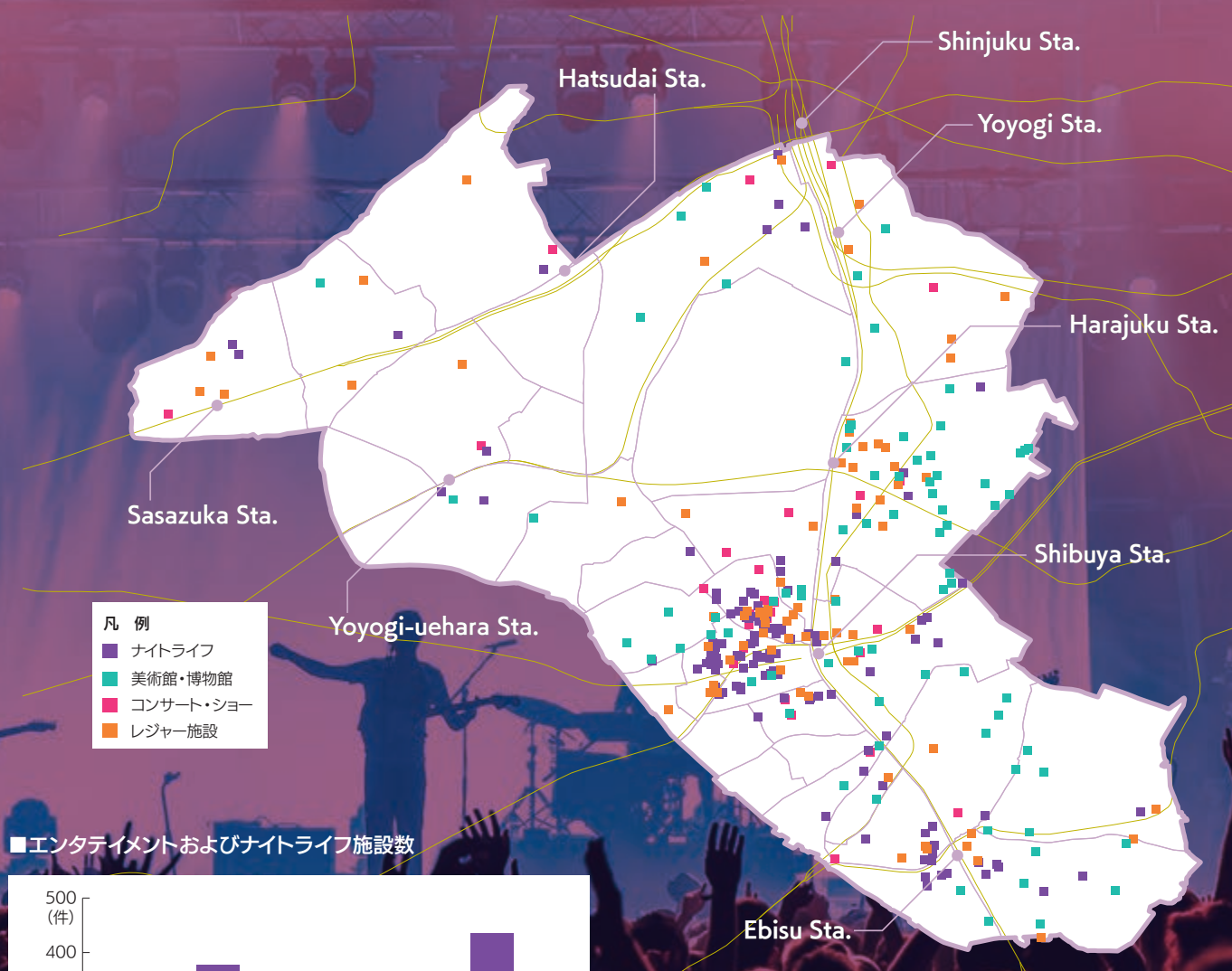
■エリア別の1日の人の動き
(深夜0時の人数を基準とした時の24時間の推移)



出典:「モバイル空間統計©-国内居住者分布統計」
(株式会社ドコモ・インサイトマーケティング)を基に作成
2018年の1年間の国内居住者の分布統計データを用いて、年間平均の1時間当たりの人数
(1ポイント50人換算)を計算し、250mメッシュの中で乱数配置を行った。

5 エンタテインメントとナイトライフ

渋谷区では、渋谷駅周辺を中心にバーやクラブなど、ナイトライフ施設が集積するほか、区全体にわたって美術館や博物館などの文化施設やレジャー施設、コンサート施設が点在しています。目的に合わせて各エリアで多様な楽しみ方ができます。



ナイトライフ: バー・クラブ、カラオケバー、ナイトツアー・パブめぐり、クラブ・ディスコ、ジャズクラブ&バー、ワインバー、シガーバーなど
 美術館・博物館: アートギャラリー、専門美術館、美術館、歴史博物館、科学博物館、天文台・プラネタリウム、自然史博物館など
 コンサート・ショー: シアター、ショー・パフォーマンス、ディナーショー、ジャズクラブ&バー、コメディークラス、コンサートなど
 レジャー施設: ゲーム・レジャー施設、遊び場、スポーツ複合施設、映画館、ボウリング場など

出典:「トリップアドバイザー」(TripAdvisor LLC)

23

出典:「SNS解析データ」(株式会社ナイトレイ)
2018年の1年間に渋谷区内で投稿されたSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のテキストを、投稿された場所の種別にもとづき抽出し、それを18頁の6つの地域区分に分けて集計した。集計されたテキストの数と文字のサイズを比例させた上で、地図上の対応する場所にそれぞれの単語を配置した。



渋谷みらいマップ

1 チャレンジできるまち。新しいビジネスが生まれるまち。

そして、大きくはばたけるまちへ

- ・コワーキングや交流スペースなどの整備
- ・ビジネスマッチングやテストフィールドの提供
- ・海外企業・外国人起業家への支援
- ・産官学連携による起業人材の育成
- ・スタートアップ企業と地域との交流
- ・楽しく働ける。そして住みたくなる環境づくり

2 商店街や中小企業が輝くまち

- ・関係団体と連携した経営支援
- ・特色ある産業振興
- ・雇用確保・人材育成の支援と産官学の連携
- ・商店街の活性化
- ・パブリックスペースの活用
- ・シェアリングエコノミーによる効率的な事業運営の促進
- ・中小企業のデジタル化推進の支援

3 常に新たなカルチャーやエンタテインメントが生まれるまち

～これからもトレンド聖地でありつづけるために～

- ・ナイトタイムエコノミーの推進
- ・エンタテインメント施設の増加と情報の発信・集約化
- ・イベントの実施・支援
- ・地域に愛される拠点を来街者にも愛される拠点へと発展させていく取り組み
- ・道路空間・壁面・公園等を活用したカルチャーの創造と発信
- ・新たな技術の活用

～観光都市として成熟していくために～

- ・代々木公園の文化的・多機能的活用

4 だれもが快適かつ安全・安心に滞在を楽しめ、賑わいが活力

につながるまち

- ・来街者へのマナー啓発
- ・オーバーツーリズム対策
- ・災害等緊急時の対策
- ・観光情報発信の強化
- ・周遊性の向上
- ・観光案内所の連携促進
- ・インバウンド対応の支援
- ・宿泊施設増への対応
- ・ユニバーサルツーリズムへの取り組み
- ・ボランティアの仕組みづくり





